

第5回まち Lab

平成 18 年 1 月 18 日(水)開催

まちやサロン於

進行:猪俣芳浩

参加者:中村喬、中村豊、野村、津久井

欠席連絡者:小平智子、吉田修

遅刻連絡:樽木聡

Agenda

①報告事項

メンバー各自の研究スケジュールについて

中村喬:年度内は「まちなか情報マップ」の完成を急ぎ、ポータルサイトとの連携を考えて行く。

野村:現在進行形の「中心市街地活性化基本計画」の進捗状況と連携しながら進めたい。

中村豊:地域情報ポータルサイトの運営が行政なのか民間であるべきなのか?について考察中。

津久井:地域通貨「情」の運営委員会を設けられないか?検討中(熊倉徹君の協力)

猪俣:③の項参照

※中心市街地活性化基本計画の内容に関する補足研究も必要ではないか?

②課題解説

市民会議と地域創造 ぎょうせい刊 の第一章及び第二章の読後解説 中村 豊

野村:「市民会議」という機関が市民と行政の間のギャップを埋めるという表現に共感した。

市民サイドの公益性向上も課題なのではないか?

津久井:市民や行政マンが地域経営という視点を持つことが重要ではないか。

中村喬:このテキストを読むことで「まち研」の位置づけが追確認できるのではないか。

猪俣:著者の視点が行政サイドに寄っている感じがした。ボランティア活動が政策とは言い切れないのではないか? 次回は第三章、担当津久井

※まち研も研究成果を「発表・提言」する機械があってもいいのでは?

③研究テーマ等に関する参加者からのアドバイス

行政サービスと行政評価に関する研究へのアドバイスを! 猪俣芳浩

配布「中心市街地の活性化に関する行政評価・監視」総務省平成 16 年 9 月報道資料

評価は不可欠だが、目標とする数値の設定が問題になる。評価機関は「市民会議」のような団体が適しているのではないか?問題を分析する能力も評価対象になるのではないか?

④その他

メンバーの拡充について

次回例会は平成18年2月14日(水)開催場所はチュンタンと調整する。